

貸借対照表作成例

・特定費用準備資金(㉑)及び資産取得資金(㉒)は、特定資産に計上してください。

㉑特定費用準備資金…将来の特定の事業費等の支出のために積み立てる資金
 (例：○周年記念事業積立資金、○○事業(新規事業)実施積立資金 等)

㉒資産取得資金…将来の特定の財産の取得又は改良のために積み立てる資金
 (例：車輛購入積立資金、○○会館建設積立資金 等)

・具体的な用途(実施する事業、取得する資産等)が分かる名称を付してください。

貸借対照表

平成○年○月○日現在

(単位:)

科 目		当年度	前年度	増減	
I 資産の部					
流動資産	現金預金	1,000	800	200	
固定資産	基本財産	投資有価証券	3,000	3,000	0
		美術品 ㉑	1,000	1,100	-100
	特定資産	○○事業積立資産	2,000	1,000	1,000
		□□購入積立資産	1,000	0	1,000
	その他 固定資産	土地 ㉒	300	300	0
		建物	1,200	1,400	-200
什器備品		200	250	-50	
資産合計		9,700	7,850	1,850	
II 負債の部					
流動負債	未払金	200	200	0	
	賞与引当金	120	110	10	
負債合計		320	310	10	
III 正味財産の部					
指定正味財産		3,000	3,000	0	
(うち基本財産への充当額)		(3000)	(3000)	(0)	
一般正味財産		6,380	3,440	2,940	
正味財産合計		9,380	6,440	2,940	
負債及び正味財産合計		9,700	6,750	2,950	